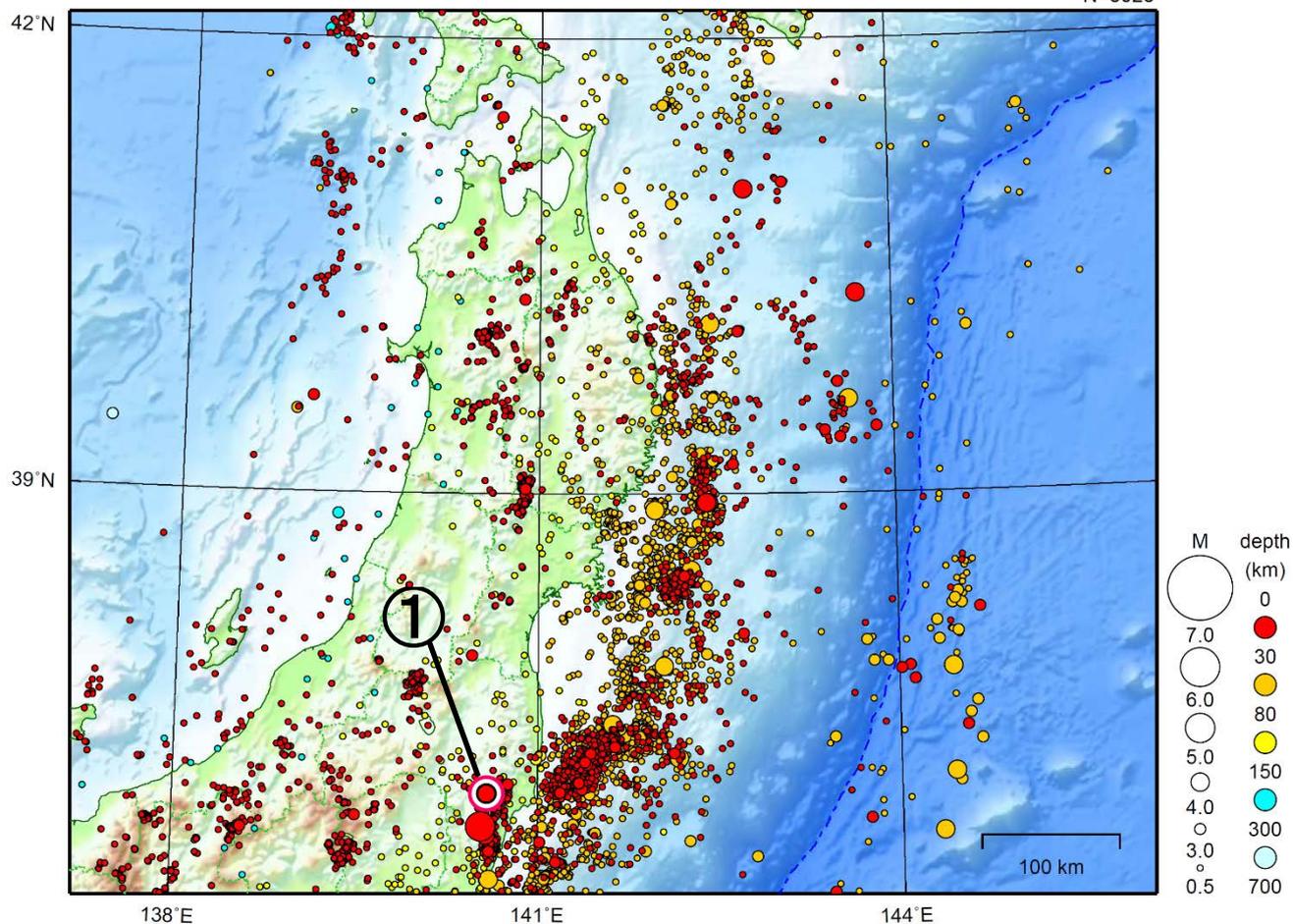


東北地方

2017/08/01 00:00 ~ 2017/08/31 24:00

N=8023



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

① 8月26日に福島県中通りでM4.7の地震（最大震度3）が発生した。

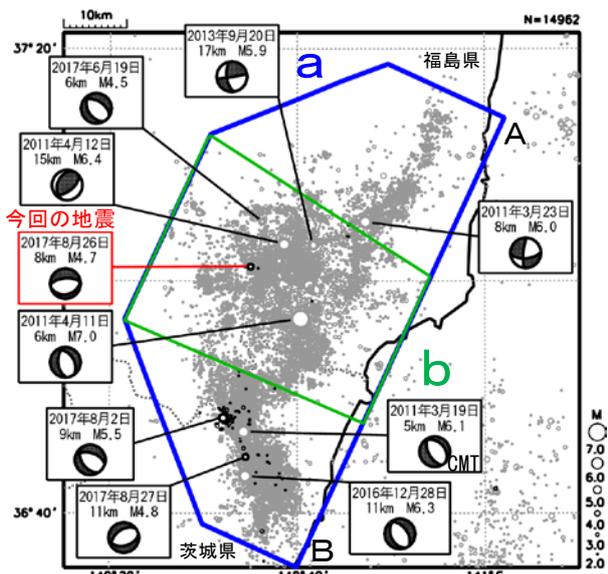
気象庁はこの地震に対して[福島県浜通り]で情報発表した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

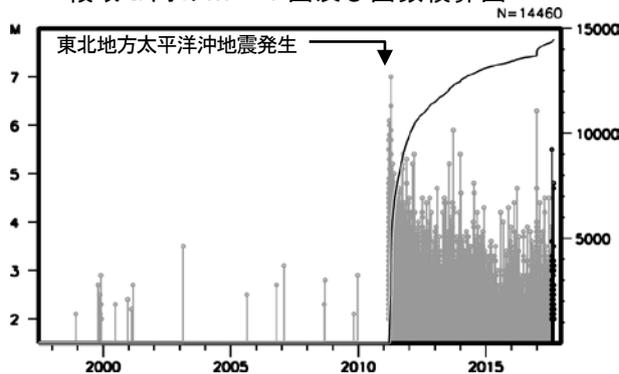
8月26日 福島県中通りの地震

情報発表に用いた震央地名は〔福島県浜通り〕である。

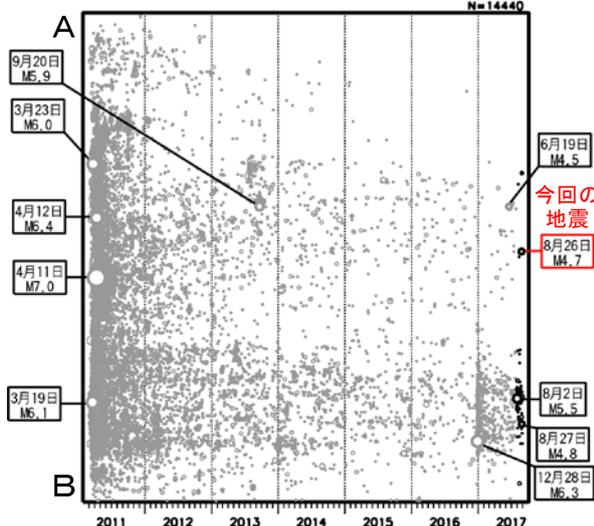
震央分布図
(1997年10月1日～2017年8月31日、
深さ0～30km、 $M \geq 2.0$)
2017年8月の地震を濃く表示



領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



領域 a 内の時空間分布図 (A-B 投影)
(2011年3月1日～2017年8月31日、
深さ0～30km、 $M \geq 2.0$)
2017年8月の地震を濃く表示



2017年8月26日04時20分に福島県中通りの深さ8kmでM4.7の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は南北方向に張力軸を持つ正断層型である。

1997年10月以降の活動をみると、福島県浜通り・中通りから茨城県北部にかけての地殻内 (領域a) では、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」 (以下、東北地方太平洋沖地震) の発生以降に地震活動が活発化した。今回の地震の震央を含む領域aの中部 (領域b) では、2011年4月11日にM7.0の地震 (最大震度6弱) が発生し、死者4人などの被害があった (総務省消防庁による)。その翌日 (4月12日) にM6.4の地震 (最大震度6弱)、2013年9月20日にM5.9の地震 (最大震度5強) が発生するなど、M4.0以上の地震がしばしば発生するようになった。その後、地震活動は次第に減衰しているが、2017年に入ってからM4.0を超える地震が2回発生している。

領域a全体の地震活動は、消長を繰り返し徐々に低下してきているが、南部で2016年12月28日にM6.3の地震 (最大震度6弱) が発生した後に再び活発化し、現在も茨城県北部の活動域を中心にやや活発な活動が続いている。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図

